

□■ 20 どこに置くの？ ■□

～ 相手の話を正確に聞く、伝えたいことを正確に伝える ～

互いに相手の手元を見ないで、言葉をやり取りして同じ配置を完成させるアクティビティです。いかに自分の伝えたい情報を正確に伝えるか、いかに相手の情報を正確に受け取るか、言葉に意識を向けるアクティビティです。ついたてを外した時に情報が正確に伝わった、受け取った達成感を味わえます。



スーザン

*対象…小学校低学年～
*人数…1 グループ2人
何グループでも
*時間…20分程度
#情報伝達

用意するもの

□ おはじき(1人4枚) □ ついたて(紙などの手元が隠せるもの。1人1枚)

進め方

- (1) 1人おはじきを5枚とついでを立って向かい合って座ります。おはじきの色は、自由ですが、2人の色の数はそろえておきます。
- (2) 「伝える」役、「受け取る」役の順番を決めます。
- (3) 「伝える」人は、自分の持っているおはじきを並べます。互いについでを立て、手元が見えないようにしておきます。並べながら、どのようにおはじきを並べるのかを口頭で「受け取る」人に伝えていきます。「受け取る」人は聞いたとおりにおはじきを自分の前に並べていきます。
- (4) 「伝える」人が全てのおはじきを並べ、どこにどのように並べるのかを伝え終わったら、同時についでを外し、同じように並べているか確かめます。
- (5) 「伝える」役と「受け取る」役を交代し、(3)(4)と同じことを行います。
- (6) どのように情報を発信すると正確に伝わるのか、うまく伝わったこと、受け



取れたこと、うまく伝わらなかったこと、受け取れなかったことについて、話し合い、ふりかえる。また、次にどのような工夫をすると、正確に情報を伝えたり受け取ったりできるのかを話し合います。

バリエーション

- 情報を「受け取る」役の人が、「伝える」役の人に質問をしていいかどうか、決めておくとういでしょう。応答「はい」「いいえ」だけとしてもかまいません。質問の回数を制限すると難易度が変わります。
- 1 グループ 3 人でもできます。3 人の場合は、「伝える」役が 1 人、「受け取る」役が 2 人になります。3 人が「伝える」役を体験できて、終了です。同じ要領で進めるなら、1 グループ何人でも可能です。「伝える」役が 1 人で「受け取る」がクラス全体でも可能です。
- おはじきの数を増やしたり、同じ色のおはじきを増やしたりすると、難易度が上がります。

ふりかえり

- 情報を伝えるときに気をつけたのはどんなこと？
- 情報を受け取る(聴く)ときに気をつけたのはどんなこと？
- ふだん、情報(話)を伝えたり、受け取ったりするときに大切にすることはどんなこと？

注意事項

おはじきでなくてもかまいません。同じもの(色や形)が 1 グループ 2 人の場合 2 組、3 人の場合 3 組、…と、グループの人数分のセットが必要です。